

新収蔵品展

NEW

観覧無料

直筆を楽しむ

2025年 2月1日(土)～3月23日(日)

休館日 月曜日(2月24日は開館)、2月12日(水)、2月25日(火)

2023年度から2024年度にかけて新たに収蔵した資料の中から、作家の直筆原稿や手紙、書画など個性的な筆跡が楽しめる資料を展示します。

樋口
一葉

高浜
虚子

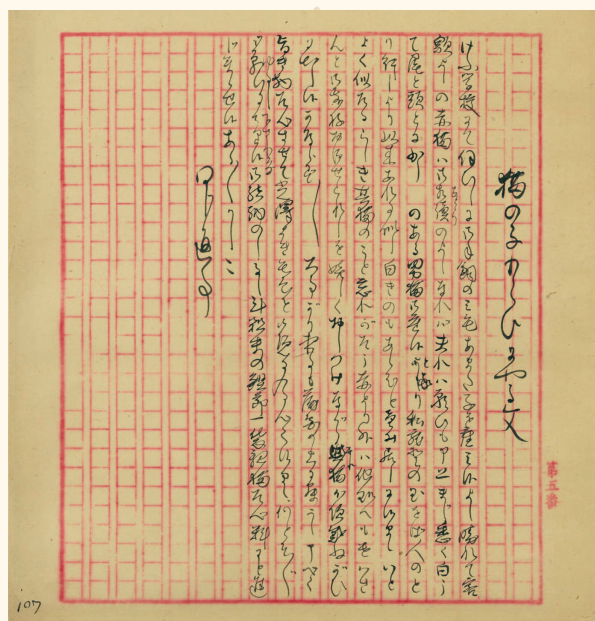
富安
風生

土屋
文明

芥川
龍之介

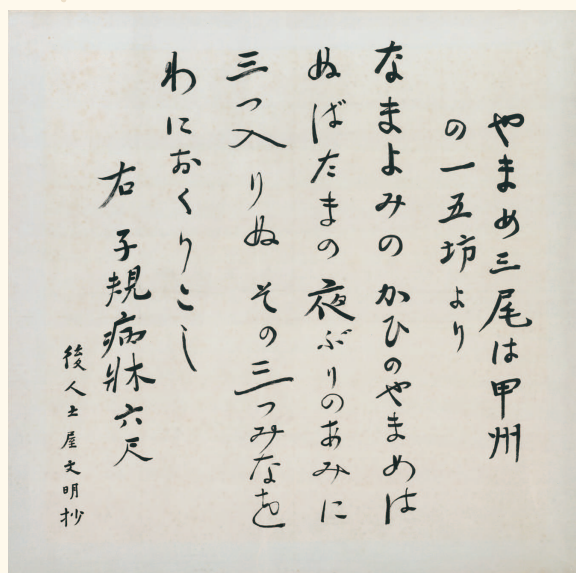
藤原
定

ほか



樋口一葉『通俗書簡文』未定稿C草稿(「猫の子もらひにやる文」)軸装

『通俗書簡文』は日常生活のあらゆる場面を想定した手紙の文例集で、一葉が生前に刊行した唯一の著書。24歳で死去した一葉最晩年の筆跡を残す。



土屋文明筆 正岡子規歌「やまめ三尾は甲州の一五坊より」額装

富士吉田市の俳人・柏木白雨旧蔵。子規が、門下の俳人新免一五坊からもらったヤマメを詠んだ長歌が書かれている。後年、文明が白雨の依頼を受けて揮毫した。

そのことばのつづきへ



山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum of Literature

Information - 同時開催イベント -

2024年12月28日(土)～2025年1月1日(水・祝)の年末年始と、
1月14日(火)～1月21日(火)は館内整備のため休館します



山崎方代 撮影 湯川晃敏

冬の常設展 テーマ展示 山崎方代 生誕110年

2024年12月3日(火)～2025年3月2日(日)

常設展では、季節ごとの展示替えとともに、テーマ展示のコーナーを設けています。
冬の常設展では、生誕110年を迎える歌人・山崎方代(1914～1985)の選りすぐりの短歌12首を直筆資料により展示します。「選んでみよう 方代のうた」のパネルにより、観覧していただく皆様に、紹介する短歌からお好きな一首をお選びいただけます。

閲覧室資料紹介

児童文学の翻訳者たち 入場無料

1月2日(木)～3月23日(日) 1階閲覧室

海外の児童文学は、明治時代以降数多く翻訳されてきました。名作を初めて訳した人や、翻訳を手がけた作家、山梨県出身の翻訳者などを紹介します。
資料はお手に取ってご覧いただけます。



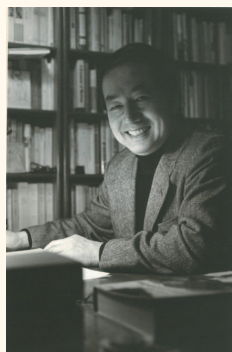
Exhibition Schedule

特設展 常設展観覧料でご覧いただけます

時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年

4月26日(土)～6月22日(日)

古今東西の題材で、美と理想を小説に表現することを追求した作家・辻邦生(1925～1999)。古代ローマを舞台にした「背教者ユリアヌス」、ルネサンス期フィレンツェのポッティチェリを描いた「春の戴冠」、山梨県笛吹市春日居町国府の父祖の地を探索した「銀杏散りやまず」、ゆかりの人の多彩な声で語られる「西行花伝」など、辻邦生の生涯と作品を紹介します。



撮影 片山撰三

作家と美術 (仮題)



芥川龍之介 風景画 1909(明治42)年

7月12日(土)～8月24日(日)

作家の中には、自ら好んで絵を描いたり、画家に装画を依頼するほど著書の装幀にこだわった人たちがいます。芥川龍之介は少年時代から回覧雑誌のカットなどを手がけ、小説家となってからも小穴隆一ら画家たちと親しく交流しました。また、図画の教員だった父をもつ檀一雄は、自身も様々なモチーフを題材に絵を描きました。文学と美術が織りなす豊かなコラボレーションの世界を紹介します。

企画展

ベストセラー誕生！ 「南総里見八犬伝」の世界

9月13日(土)～11月24日(月・振休)

「南総里見八犬伝」は、江戸時代後期、曲亭馬琴が28年をかけて完成させた全98巻106冊に及ぶ一大長編小説です。8人の「八犬士」が活躍する物語は、刊行当時から人気を集め、歌舞伎や錦絵の題材になり、近現代には小説や映画、コミック、ゲームに取り上げられました。時代とジャンルを超えて愛されるベストセラー「八犬伝」の魅力をお楽しみいただけます。



錦絵「大日本六十余州之内安房里見之姫君伏姫」(所蔵 館山市立博物館)

【利用のご案内】

開館時間 展示室 午前9時～午後5時(入室は午後4時30分まで)
閲覧室 午前9時～午後7時(土日・祝日は午後6時まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、
祝日の翌日(日曜日の場合は開館)、
年末年始、その他臨時開館・休館あり。

【交通のご案内】

●JR中央本線甲府駅より

JR甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より、39系統 御勅使(みだい)、03・04系統 電王駅経由敷島営業所、35系統 大草経由葺崎駅、30系統 貫川(くがわ)団地各行きのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※山梨県立文学館ホームページの「お知らせ」からも、バスの時刻表をご覧いただけます。
タクシーで約15分。

●中央自動車道 甲府昭和インターチェンジより

料金所を昇仙峡・諏訪方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、貫川(くがわ)交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。



【観覧料】

新収蔵品展は観覧無料

	常設展	
	個人	団体(20名以上)
一般	330円	260円
大学生	220円	170円

※県内宿泊者割引は団体割引料金を適用
※高校生以下の児童・生徒は無料
※65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)
※障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料
※特設展は常設展観覧料で御覧いただけます。企画展は別途、観覧料をいただきます。

X (旧Twitter)
@bungakukan_ymans

Instagram
@yamanashi_art_literature_park



山梨県立文学館
ホームページ

そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-5-35
TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032
<https://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>